

麻績村の教育方針に関する研究検討委員会

「第7回保育園・学校部会」 会議録

日時 平成30年2月26日 午後5時00分

場所 地域交流センター 第3・4研修室

出席委員 市川祥介(麻績村教育委員) 小山正文(麻績村教育委員)  
宮川裕満(学校組合教育委員) 高坂 徹(筑北中学校長)  
清沢 剛(筑北中学校教頭) 宮下智恵美(筑北中学校教務主任)  
福田弘彦(麻績小学校長) 北條泰瑞(麻績小学校教頭)  
鳥海 康(麻績小学校教務主任) 臼井孝夫(麻績保育園長)  
刈間伸一(麻績小学校PTA会長) 小山芳道(筑北中学校PTA会長)

教育委員会事務局 飯森 力(教育長) 臼井太津男(教育次長) 尾和正行(主事)

## 1 開会

**教育次長**：定刻となりましたので、これから第7回保育園・学校部会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。それでは、部会長あいさつをお願いします。

## 2 部会長あいさつ

**部会長**：あらためまして、こんばんは。委員の皆様におかれましては年度末のご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。先日、小学校4年生、5年生の授業の一部に参加させていただく機会がございました。4年生は、二分の一成人式の授業で校長先生から直接一人ひとりに賞状と励ましのお言葉をいただき、子どもたちは未来への決意を保護者の前で述べ合い、感動的な授業でありました。中学校の立志式につながる志を育む教育として一貫教育の中核をなす指導だと感じました。5年生は、米作りの体験を発展させて、色々な水の味比べというユニークな授業でありました。五感で感じる体験的な学習は中学校での学習の基盤となるものであり、こういった観点からも

一貫教育の大切さを感じました。

本日の会議は、次第のとおりであります。また、本日は本年度の最終回でもありますので、色んなご意見をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

**教育次長**：それでは、会議資料の確認をさせていただきます(会議資料の確認)  
前回の議事録につきましては、すでに委員の皆さんにお配りしてありますが、何か問題がありましたらご指摘いただければと思います。

**部会長**：特によろしいでしょうか。それでは、早速協議に入らせていただきます。

### 3. 協議事項

#### (1) 前回の部会(1/30)の再確認

**部会長**：前回の部会の再確認ということで事務局からお願いします。

**教育次長**：お願いいたします。まず、ICT活用教育アドバイザー派遣事業の第2回の報告がありました。その後、分散会の今後の進め方というところで「取組状況の見える化」について2点の案が具体的に示されました。1つは、平成30年度の取組についての一覧表です。ここでは、H30取り組むこと、H30検討すること、H31以降検討したいことを分散会ごとにまとめることで教職員や教育委員会が目的や内容について共有が図れるものということでございます。次に学力向上リーフレットでございます。今まで検討されてきたことをまとめ、同じく「見える化」した素案が示されたものであります。このリーフレットは教職員で共有していただき、あわせて子どもたちや保護者にも配布を予定しております。一覧表については、この会議までに学校ごとに空欄を埋めていただき、リーフレットについては内容を確認し、最終案を示すこととされました。以上でございます。

**部会長**：前回の確認で何かありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(2) ICT活用教育アドバイザー派遣事業 第3回目の報告(2月6日開催)

委員：お願いいたします。ICT活用教育アドバイザー派遣事業については分散会のICTに位置づいております。回数的には3回までですので、前回は最終回でありました。後藤先生より情報提供及び提起ということで、ICT機器の活用により身につけさせたい資質ということでは、「ICT込みの学習」。これについては世界はネットやタブレットを活用した学習に移っているので、それに乗り遅れないようにということ。「プログラミング思考」ということでは、例として今まで何に対しても消極的だった子どもがICT機器にマッチして学習に積極的になったということ。「先生方がICT機器を使い、それを見て子どもたちが使う環境づくり」のために立ち上がりの早いパソコン等、簡易に扱える環境が必須ということが提起されたものであります。協議及び方向性という部分では、今回のICT活用教育アドバイザー派遣事業を通じて、小中学校の環境を各学校及び教育委員会がお互いに確認し合い、話し合うことが出来たのが一番の成果だったのではないかとということ。また、そこにアドバイザーの先生から見た状況に対して意見具申がされることの意義が大きかったのではないかとということ。教育委員会としては、現場が必要とする環境整備を行うことが重要であるということが再度確認されました。望ましい環境として3つ挙げていただきまして、①速度の速い回線、②立ち上がりの早いパソコン、③すぐに映像が出るプロジェクターといった3つが基礎となる環境ということで、要は「使いやすさ」という視点での整備が重要であるということでございます。意見交換としては、主だったものを絞って載せさせていただきましたが、この他にも多くの意見交換がされていきました。その中には、学校の先生がICT機器を実際に持ってきて使い方を説明するといったこともありました。まとめとしましては5点挙げさせていただきました。①今回のような三者が揃い協議検討する方法を今後も継続していくこと。②今後のICT機器の導入も含めて、それをどのような活用をしていくのが大切ということ。③今後、第三者からのアドバイスも随時必要と思われるということで、場合によっては後藤先生も関連事業の中で対応することも不可能ではないと言われ、今後も連絡をすることは構わないとの事でした。④明確な方向性を出せたわけではないが、情

報提供やアドバイスをいただいたことで、次へつなげる見通しができたということ。⑤学校ごとの ICT 環境の現状・問題・課題を共有できたことは一番の成果であったのではないかと思います。この事業を通じ、今後の一貫教育の ICT 部会については、この体制を継続して、今後の環境整備や ICT 教育への取り組みとしたいということで全体的なまとめとさせていただきます。

**部会長**：このことについて何かご質問等ございますか。

**委員**：望ましい環境で「速度の速い回線」や「立ち上がりの早いパソコン」という話がありましたが、今現在は遅いということですか。

**委員**：Wi-Fi 環境の中で若干のタイムラグがあるということで、回線の速度については調査をしてもらうように考えております。

**部会長**：その他にご質問等ございますか。よろしいですか。それでは、この方向で進めていただくということでお願いしたいと思います。先に進ませていただきます。

### (3) 平成 30 年度 一貫教育への取組について

#### ・「取組一覧表」(A3 版) について

小学校から

中学校から

保育園から

**部会長**：それでは、平成 30 年度一貫教育への取組についての取組一覧表についての説明を小学校、中学校といった順番で学力向上からお願いします。

**委員**：小学校と中学校で内容を詰めまして一覧表に載せさせていただきました。内容についてはここにあるとおりですが、来年度については手引きを作ったのでそれに沿って全職員が行い、それを基に「この

内容で良いのか」検討してより良いものに更新していくということと様々な学力テストというものも実施していく形になっていくと思われま

**委員**：学習の手引きについては発達段階があると思いますので、小学校、中学校それぞれで学習の手引きを使ってということと中学校ではオリエンテーションを年 2 回行っておりますので引き続き行いたいと思います。共通のルール、ねらいやまとめの時間の確保というところは小学校も中学校も共通して取り組んでいきたいと思います。平成 30 年度以降のところではユニバーサルデザインの観点からの手順を示すといったことや学力テストについてお互いに情報交換をしながら子どもたちの学力を伸ばしていきたいと思います。

**部長**：それでは、次に国際理解についてお願いします。

**委員**：来年度は、授業数は増えるということで担任と ALT の連携をしておりますが、もう少し進めていかないといけないと考えております。また、小中一貫のメリットを活かすという意味で小中英語の授業参観と研修会というのも進めていければいいかと思えます。これから英語の授業数が増えると 70 時間という中では全てに ALT に入ってもらいたいというのは難しくなるので、担任を中心とした英語授業の準備を進めていかなければいけないと思っております、検討課題になると思います。

**委員**：中学校では、現在実施している留学生との交流授業や ALT による異文化理解ということでプレゼンを作るといった活動をしています。そういったことの情報を小学校へも広げて共同開催ができればと考えております。

**部長**：それでは、ICT 教育についてお願いします。

**委員**：ICT 活用教育アドバイザー派遣事業でも話がありましたが、ICT 機器の整備点検。あわせて児童のパソコンの活用についても考えていきたいと思えます。モラル等といった部分についてもしっかりと伝

えていかないといけないと考えております。平成 31 年度以降は、他の地域とのネット等を活用した授業もできるのではないかと思いますので、そういったところも検討していければと思います。

**委員**：中学校では、各教室にスクリーンやプロジェクターを入れていたくということで実際にどんな活用ができるかということを職員で研究していかないといけないと考えております。ICT 機器の導入については小学校の方が進んでいますので、実際にどのような活用をしているのかというものを見せていただきながら研究を深めていきたいということ。平成 31 年度以降については、新しい教科書に ICT 機器の活用が含まれるということで、どのような形で ICT を活用するかということを検討していきたいと思っております。

**部長**：それでは、道徳養育・人権教育お願いします。

**委員**：新カリキュラムに向けた検討を平成 30 年度は検討していかなければいけないと考えております。平成 31 年度については、地域の特色をどういったものが教材化できるかということを中学校と相談しながらできればと考えております。

**委員**：同じく教科化に向けて指導計画や評価の仕方についての情報交換をしながら進めていきたいということ。それから平成 30、31 年度については文部科学省の人権教育の指定を受けているので、その部分も含めて情報交換しながら進めていきたいと思っております。

**部長**：それでは、読書指導お願いします。

**委員**：取り組むこととしましては、高学年になるにつれて読書量が減るといった傾向がありますので、高学年の読書量を増やす工夫をしていきたいと思っております。検討することとしては、図書館活用による調べ学習を充実させるにはどのようにすればいいのかの検討できればと思っております。平成 31 年度以降は外へ児童の本による働きかけが出来たらと考えております。

**委員**：小学校でも高学年の読書量についての話がありましたが、中学校ではさらに読書量が減ってしまいますので、読書量を増やすためにどんな工夫ができるかということで朝読書の方法や形態を考えたり、今年度から始めたビブリオバトルということも実施しながら本への親しみを持つようにしていければと思います。現在はネット社会なので、インターネットで調べればすぐに分かりますが、ネットでの調べ学習ではあまり深まりが無いということですので、もっと深く調べるには本を使った調べ学習をしていきたいと思います。そのためには、ネットと比べた本の有用性等を子どもたちにどのように伝えるかということも検討していきたいと思います。

**部長**：それでは、健康教育をお願いします。

**委員**：中学校との運動面や体力面の情報を共有することや今までは別々に組んでいる体づくり・体力づくりといったところをそれぞれの内容を理解して通したものにしていくということが取り組んでいきたいところです。検討することとしては、食育についてや平成 31 年度以降は学校保健委員会を共同開催できたら互いに効果があるのではないかと考えております。

**委員**：体力向上については、小中学校間の摺り合わせが大事になると思います。中学校では持久力に問題があるということが数年前から学校保健委員会で話題となっていましたが、小学校ではマラソンに力を入れているということでしたので、どうして中学校では持久力が駄目なのかということに繋がったり、GOGO 歩こうの日も連携したりしてやっていければと思います。食育の方に関しても、給食については栄養教諭同士で話をしたり、村とタイアップして健康について将来的にやっていければと思います。

**部長**：それでは、ふるさと学習をお願いします。

**委員**：総合の時間の時間数が削られ、厳しい状況になると思いますが、ふるさと学習は小中一貫で特に大事になることだと捉えておりますので、小中学校でお互いに情報を共有しながら中学校に学んだり、中

学校での進路指導を見据えて小学校ではどう取り組んでいくかというところも検討していくことを大事にしていきたいと考えています。

**委員**：ふるさと学習が一貫教育の根幹になるものだと思います。地域を題材にしたものが1番連携がしやすい部分だと思いますので、小中学校で連携してければと思います。例としては、小学校での二分の一成人式のやり、中学校では立志式をやっていく。小学校で消防署やお店の見学をし、中学校では職場体験学習をしていますので、今ある部分の摺り合わせをして連携していければと思います。

**部長**：それでは、児童会・生徒会お願いします。

**委員**：児童会・生徒会としては、今行っているあいさつ運動と充実させていくということ。検討していくことは、花の苗の交換などの無理のない交流を検討して、平成31年度以降はさらに新たにどんなことが取り組めるか検討するといったところです。

**委員**：小中学校で一緒に行うことができるということは、1つはあいさつ運動で今年も実施させていただきました。今後については、さらに取組を深めていければと思います。検討することとしては長期休みの前に行った奉仕清掃を有志を募って行いましたが、多くの生徒が参加してくれました。これを調整して継続的な活動にしていければと考えております。また、これから子どもの人数が減少していきますので、委員会の数や種類を平成30年度には検討して、平成31年度には適切な委員会数でスタートできるように考え、また生徒会が小学校と交流できるようなことも考えていきたいと思っています。

**部長**：それでは防災教育・安全教育お願いします。

**委員**：平成30年度の検討として、中学校と情報の共有ができればと考えております。平成31年度以降、災害時の訓練として引き渡し訓練を行っていますが、小学校と中学校それぞれが独自の方法で行っておりますので、そういった方法を同じにすることで保護者の混乱も少なくなると思いますので、そういったことも検討していきたいと思



ます。

**委員**：小学校と同じで情報を交換していきたいと考えています。同じ行事を違う内容で行うということは混乱を招きますので、統一できるところは統一できるようにしていきたいと思います。

**部長**：それでは特別支援教育お願いします。

**委員**：平成 30 年度は、より確かな情報の引継ぎを行い、平成 31 年度以降は情報の共有というところを考えています。麻績村はキッズサポートカードがあるので、情報の共有というところは充実していると思いますが、上手な形で引き継いでいけるような方法を考えています。

**委員**：まずは、子どもたちの学習環境を整えていかなければと考えています。指導の方針についても色んな先生がいて色んなやり方があるので、学校の中では統一した指導方針を打ち立てていかないとブレが出てきてしまうので、ブレない指導方針を確立して先生方が共通認識してできるようにしていかなければいけないということと、中学校卒業後のことを考えると中学校の手から離れてしまうので村の方に引き継いでいくことが重要だと考えています。

**部長**：それでは PTA 活動お願いします。

**委員**：検討課題としては PTA 活動の精選をし、50 周年記念行事への協力については小学校の PTA として検討しなければならない課題ということで載せさせていただきました。平成 31 年度以降としては、PTA 活動のあり方ということで平成 32 年度から坂井小学校の児童がいなくなると中学校を見据えた役員の体制を考えていく必要が出ると考えています。

**委員**：家庭数も減少するというところで地区の役員をどうするかということも大変になると思いますので、地区割のあり方や PTA 活動自体も保護者の方への負担が大きくなってきますので、その辺りの精選も必要になってくると思います。PTA 活動のあり方を検討して、より子

どもたちの為になる活動を検討していきたいと思います。

**部会長:** それでは、コミュニティスクールをお願いします。

**委員:** まずは、地域の支援者の共有を中学校と行いたいと考えています。また、平成 31 年度以降は中に入っていだけけるような取り組みをしていきたいと思っています。

**委員:** 教科の内容によって地域の方の力を借りているところもありますので、小中学校で情報交換が出来たらと思います。また、支援者の中には小中学校に支援いただいている方もいらっしゃいますので、そういう方にご負担が掛からないよう統合できるところは統合してやっていければと考えております。

**部会長:** ありがとうございます。「H30 取り組むこと」について空欄のところもありますが、検討することの中に取り組めることもありますので、検討しながら取り組んでいくということもお願いできればと思います。それでは、このことについてのご意見をいただけますか。

**委員:** 保育園の現状としては、一覧表の中で小学校に繋がられる取組は読書指導、体力向上・食育、防災・安全というところかと思っています。読書指導としましては、色んな団体と関わりながら本に親しむということ。また、体力向上・食育につきましても発達状況に応じて健康の維持、体力の向上に努めているところです。特に、外に出る機会の少ない冬はマラソンを取り入れ、園の内外で走っております。食育についても適切な食事の提供に心がけております。また、畑をもっておりますので、栽培・収穫・食べるというところを通して保育計画に基づいてやっております。防災・安全につきましては、避難訓練を毎月 1 回行っております。「あわてず、騒がず、先生の話をよく聞いて、安全な場所に移動する」というところを進めております。また、女性消防団にお願いして、スライドで「ケガをしたら悲しむ人がある、命は 1 つ」というところを教えているところです。特別支援教育については、保育園の方にもキッズサポート会議が保育園の方にもありまして、早期発見・早期対応というところに心が

けております。PTA 活動とは言えませんが、保育園にも保護者会が  
ございます。主な活動は夏祭りを中心に行っておりますが、保育と  
いう中では、なかなか保護者の方の時間も取れませんので、活発な  
意見交換までは進まないという状況はございます。平成 30 年度、平  
成 31 年度以降に検討する欄がございますが、保育園としては今ある  
活動を継続して行い、子どもたちに根付くよう活動を行っている現  
状であります。

**部会長:**ありがとうございます。この一覧表については、小中学校で職員会  
を何回も行い、検討していただいております。それでは、その他に  
ご意見やご感想等いただけますか

**委員:**関連性を持ってまとめていただいておりますので、すごく良いと思いま  
す。

**部会長:**その他にございますか。

**委員:**細かいところまで目的意識を持ってまとめてもらったと思います。  
PDCA サイクルでやってみて反省・検討してやってみるということは  
非常に良いと思います。年間計画の中でも連絡会が 2 回予定され  
ていて、この計画があるということだけでも素晴らしいと思います。  
学校、保護者、教育委員会が共通意識を持って進んでいかないと駄  
目なので、保護者が内側に入って進んでいくような方法を取っても  
らって進めてもらえればより良いものになると思います。

**部会長:**大事なご指摘をいただきました。その他にございますか。

**委員:**ふるさと学習に関連して、麻績の地域から子どもたちが出た時に「麻  
績村ってどういうところ」と聞かれたときに最低ラインが説明でき  
る「こういうものがあって、こういうところだよ」と即答できる子  
どもになってほしいと思います。先生方には負担が増えますが、ぜ  
ひお願いできればと思いました。

**部会長:**ふるさと学習を進めていき、検討する中でそういうことも検討して

いただけるとありがたいです。その他にございますか。

**委員**：学力向上を中心にして、いくつか項目を分けていただいて検討していただいた中でできるものから手を付けていただいて、子どもたちにとって有意義な形で流れていけばいいと思います

**部会長**：「今、目の前にいる子どものためにどうするか」という視点で入っていただいておりますので、どこでも通用するスタンダードな方向で非常に良いことだと思います。教育委員会の答申でもあったように3つの柱を立てています。1つは、子どもたちが自分から進んでやっていくということ。ふるさと学習の中の総合的な学習やキャリア教育などが入ると思います。2つ目は、国際理解教育とふるさと教育を裏表として捉えること。どちらかだけでは偏った知識となってしまうので、これらを一緒に考えて進めていくということ。3つ目のICT教育についてはそのままの項目が位置づいている訳ですが、答申の中では大事に考えております。大きなポイントをその辺りにおいて新年度を進めていただけるとありがたいと思っております。平成30年度の会議については、これを確認しながら進めるということでこの件についてはよろしいでしょうか。それでは、教育長さん何かご意見いただけますか。

**教育長**：麻績村の子どもが麻績村の知識を学ぶということは大事ですが、これから外に出ていくことに向けた交流の部分が少し弱いように感じました。ふるさと学習に位置づくと思いますが、そんなところも今後の検討材料にしていただけるとありがたく感じます。

**部会長**：ありがとうございました。それでは、次に移ります。

#### ・「学力向上リーフレット」について

**部会長**：それでは、「学力向上リーフレット」についての説明をお願いいたします。

**委員**：前回、提案させていただいたものを小中学校それぞれで持ち帰り検

討させていただきました。内容的に大きく変わるところはございませんが、文字のフォントや簡単なイラスト、色などをご指摘をいただいて今回のものを作成しました。変更していない部分もありますが、統一感等を大事に考えこのようにさせていただきました。印刷の質や紙によっては若干の変化は出ると思いますが、何かございましたらお願いします。

**部会長**：何かありましたらご指摘いただきたいと思います。

**委員**：学習の手引きの右上の青い枠の中については教育委員会が入力するということですので、こちらでは何もしておりません。

**部会長**：それでは、この枠についてご意見いただけますか。

**委員**：一番下の文の中に「地域」ということを入れた方が良いという話がありましたので、その方が良いと思います。

**部会長**：そうですね。それでは、そのように修正をお願いします。その他にございますか。

**委員**：家庭学習のところで小学校 1.2 年生の家庭での援助のところですが、保護者の負担を考え、3.4 年生とは違い「宿題を始める時間を親子で決めましょう」としたのですが、低学年は大事な時期ですので「音読や書き取りにサインなどをし、宿題を見届けましょう」とした方がいいのかと考えていました。その辺はどうでしょうか。

**部会長**：ご意見いただけますか。

**委員**：実際のところ、小学校 1.2 年生は家に帰って宿題をするということがあまりないと思います。バス待ちの時間や児童クラブで済ませてしまうので、家でやる習慣を 1.2 年生の頃からつけるということはとても大事なので、難しいところですが、バス待ちや児童クラブで宿題を済ませても家で確認してもらって声を掛けてもらうということだけでも非常に大切だと思います。

部会長：保護者の立場からご意見いただけますか。

委員：子どもが自分で時間を見つけ宿題をすること自体は大事なことだと思いますが、やったことを褒めることで子どももやった達成感が出ると思いますので、載せていただいた方が良いでしょう。

部会長：その他によろしいですか。それでは、提案されたような文に変更するというところでよろしいでしょうか。

全員：(了承)

委員：それでは、柔らかい表現になるようにスペースも考慮して修正したいと思います。

部会長：その他にございますか。

委員：保護者に配布するということでしたが、サイズはどうなるのでしょうか。もう1点は、家庭へのお願いの文章ですが、伝わりやすいようにもっと強調した方がいいと思いますが、どうでしょうか。

委員：見栄えも考えながら、事務局と検討したいと思います。

委員：私の考えですが、あまり大きいものだと貼ったりせず片づけてしまうと思いますので、冷蔵庫に貼れるA4サイズの方が良いでしょう。

委員：そうですね。その方が良さそうですね。

部会長：紙としては、どのようなものを考えていますか。

委員：この紙よりも少し厚めのものを考えています。

部会長：それでは、サイズについてはA4サイズのもので見栄え等について最終詰めをしていただきたいと思います。他にございますか。このリ

ーフレットについては、配布だけでなく保護者に話をするということでしたが。

**委員**：4月のPTA総会で説明をします。また、年度内にアンケートを取って修正をして進めていきます。

**部長**：その他によろしいでしょうか。それでは、次に移ります。

#### (4) 部会の進捗状況周知 及び 保護者からの要望等について

**部長**：部会の進捗状況周知及び保護者からの要望等について、何かご意見ございましたらお願いします。

**委員**：小学校のPTAの関係についてお伝えしたいと思います。PTAとしては2回村長さんと懇談会を開催しました。その中でも、具体的な内容や今後に係る疑問・不安が払拭できていない実感がありました。そんなところを今後の中で変えていくために主に4つについて意見をお聞きしました。

1つは、アンケートを取ってはいるのですが、あまり出てきていないという状況で「具体的にどういう不安があるのか」ということ。2つ目は、「教育方針に関する進捗具合等をどのくらい理解しているのか、どのくらい認識しているのか」ということ。3つ目は、「どんな場だったら参加してみたいか」ということで、頻度や時間、形態などについてということ。4つ目は、「今のPTA活動や教育委員会、学校についての要望」ということで、大きく4つについて聞かせていただきました。

教育方針の進捗具合について、ホームページで閲覧ができるという話は出ているのですが、実際はホームページ自体を開いている人が少ないので、進捗状況について知られていないのが現状です。その中で、「今まであったことの説明ではなく、今進んでいることを教えてほしい」という意見がかなり多かったです。だからと言って、別に会を設けてもなかなか集まる事が出来ないのも、「参観日や学年PTAの時に教育委員会の方に来ていただくことはできないですか」という意見もありました。「懇談会という畏まった形で、村長

さんや教育長さんが来るとなると敷居が高いので、教育委員の方とのお茶会のような畏まっていない会はできないのか」という意見もありました。また、意見を直接伝えるとなれば難しいので、アンケートという形式で考えていますが、PTAとしてやるのか、教育委員会としてやるのか、「みんながどのようなことを思っているのか伝える場を設けた方がいいのではないか」という意見もあったので、今後検討していきたいと思います。

**部会長:** 学年PTAへの参加の話もありましたが、実際にできるかどうか連絡を取り合いながら進めなければならないと思います。アンケートについては、皆さんの意見を吸収できるやり方を考えていきましょう。その他にございますか。

**委員:** 中学校も先日総会がございまして、総会後に意見をお聞きする場をもったのですが、特に意見は出ませんでした。

**部会長:** その他にございますか。

**委員:** やはり興味があるかどうかで、どの知っているかが変わると思います。アンケートの聞き方も今の段階でどういう意見をいただくか気をつけなければいけないと思います。

**部会長:** おっしゃるとおりだと思います。その他にございますか。

**委員:** 周知の方法については、難しい問題です。現在は、ホームページや館報で定期的に要点だけですが周知しているところです。ただし、おっしゃられたとおり多くの方の目にはなかなか止まらないということも感じております。

**部会長:** その他にご意見ございますか。それでは、この問題について何かありましたら、情報を共有して皆で検討していきたいと思います。それでは次に移ります。

#### 4 次回開催日程



**部会長**: 次回の開催日程ですが、平成 29 年度としては今回の会議で最後となります。次回開催日程に関連して説明をお願いします。

**委員**: 先ほどの話にもありましたが、PDCA サイクルで進める中で 3 校園連絡会の前後と最後のまとめでの開催を計画しました。第 1 回目の 3 校園連絡会が 5 月 15 日に予定されていますので、1 回目の部会をその前の開催で調整したいと思いますが、いかがでしょうか。

**部会長**: 3 校園連絡会を来年度は 2 回計画していただき、その前後で部会の開催が必要になるであろうということで、第 1 回目の開催について日程調整をお願いします。

次回開催予定 平成 30 年 4 月 17 日(火) 午後 5 時 00 分から

**部会長**: その他によろしいでしょうか。それでは、閉会をお願いします。

## 5 閉会

**教育次長**: 長時間にわたりご協議いただきありがとうございました。また、平成 29 年度としては最後になりますが、大変ありがとうございました。以上をもちまして、第 7 回保育園・学校部会を終了いたします。お疲れ様でした。

(閉会 18 : 39)